

スプレダム S-1 工法 施工要領書

株式会社アイゾールテクニカ

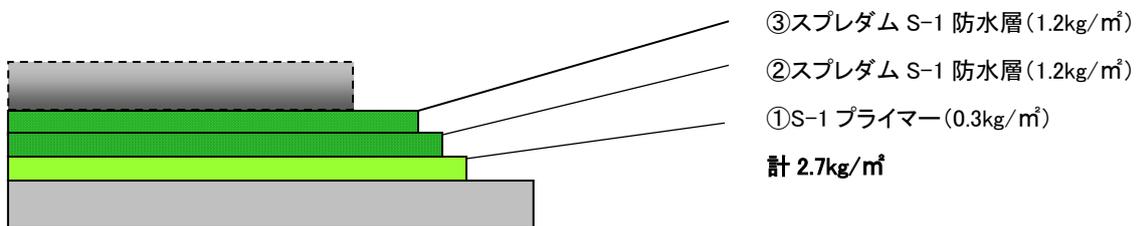
施工前の注意事項(下地処理)

防水下地は防水性能に直接影響を及ぼしますので、次の点に注意して施工を行ってください。

1. 新設構造物に塗布する際には、下地の汚れやエフロレッセンスがある場合は、ケレンなどで除去して下さい。下地に汚れやエフロレッセンスなど付着している場合にスプレダム S-1 防水材を塗布すると、付着力が低下して塗膜の剥離の原因となります。
2. 既設構造物に塗布する際には、サンダーケレン(推奨)や高圧洗浄を行ってください。特に脆弱部、汚れなどは十分に除去してください。
3. 塗布面にジャンカ(豆板)や欠けなどがある場合、ポリマーセメント系断面修復材により、断面修復工を行なってください。また、エポキシ系断面修復材・パテ等を使用した場合は、スプレダム S-1 防水材の付着性や浸透性を阻害しますので、使用は避けてください(不陸調整工も同様です)。
4. 0.2mm 程度までのひび割れに対してはスプレダム S-1 防水材の塗布で充填されますが、それ以上の幅のクラックに対しては、所定のひび割れ注入工を実施した後に、スプレダム S-1 防水材を塗布してください。ひび割れ注入工はセメント系注入材を推奨しています(1mm 程度までのクラックに対しては、エポキシ系注入剤でも可能)。
5. 躯体表面のセメントモルタル分が経年劣化により消失し、粗骨材が露出している場合や、巣穴がある場合には、状況に応じてポリマーセメント系薄塗り補修材により下地調整を行ってください。下地調整工を実施する場合は、必ず金鏝にて仕上げを行ってください。
6. スプレダム S-1 防水材は、水性材料のため、含水率などの下地の水分管理(水分率)は特に設定していません。ただし、早期の塗膜形成のため、表面が乾燥していると視認できる状況のもとで使用してください(通常 表面水分含水率 8%以下)。下地が濡れている場合は、ブロアーなどで強制乾燥させるなどの措置を行ってください。
7. スラブや立ち上がりの入隅は、できる限り面取りを行ってください。(入隅を直角にしておいた場合、躯体入隅に応力集中によりクラックが発生し、防水層に影響を及ぼす恐れがあるため)
8. 水勾配は、コンクリート下地で確保し、雨水などが防水層に滞水しないように留意してください。

スプレダム S-1 工法の標準工程と仕様

スプレダム S-1 工法



- スプレダム S-1 防水層の上には、アスファルト舗装もしくは、コンクリート舗装が標準となりますが、軽歩行程度の露出部分につきましては、防水層保護のため、タケトップの塗布(竹林化学工業(株)製 トップコート)を推奨しております。

スプレダム S-1 工法施工手順



下地処理

別項目参照

S-1 プライマー塗布

原液を希釈せずに塗布する。

乾燥時間 夏季:約 30 分(気温 25℃ 晴れ)

冬季:約 1~2 時間(気温 5℃ 晴れ)

② スプレダム S-1
防水層塗布(1 層目)

スプレダム S-1 主剤 9kg(1/2 缶)に対して、スプレダム S-1 混和材 6kg(1 袋)を入れ、約 5 分間攪拌する。

【配合比率 スプレダム主剤:SP 混和材

=3:2】

これをローラー・万能刷毛(推奨)、または鏝にて塗布する。(厚塗り、たまりのないよう均一に塗布)。

乾燥時間 夏季:約 2 時間(気温 25℃ 晴れ)

冬季:約 4~5 時間(気温 5℃ 晴れ)

③ スプレダム S-1
防水層塗布(2 層目)

スプレダム S-1 主剤 9kg(1/2 缶)に対して、スプレダム S-1 混和材 6kg(1 袋)を入れ、約 5 分間攪拌する。

【配合比率 スプレダム主剤:SP 混和材

=3:2】

これをローラー・万能刷毛(推奨)、または鏝にて塗布する。(厚塗り、たまりのないよう均一に塗布)。

乾燥時間 夏季:約 2 時間(気温 25℃ 晴れ)

冬季:約 4~5 時間(気温 5℃ 晴れ)

注 意 事 項

- ・ 防水材料は攪拌機を使用し、ダマがなくなるまで十分に攪拌して下さい。ダマが残るとその部分だけ防水膜が形成されず、防水性能に悪影響を及ぼします。
- ・ 防水層が完全に乾燥したことを確認してから次の工程に進んで下さい。特に日陰や隅角部は乾燥が遅くなるので、ブローアールや送風機、ジェットヒーターなどで早期乾燥を促して下さい。
- ・ 気温 5℃以上、湿度 90%以下で施工して下さい。
- ・ 乾燥前に水をかけたり、防水層に乗ったりしないで下さい。
- ・ 一度に防水層の厚塗りをすると塗膜に亀裂が発生するので避けて下さい。
- ・ 主剤と混和材を混ぜた防水液は、長時間放置せずにできるだけ早く使用して下さい。
- ・ 防水施工完了後、完全に硬化するまでは(夏季:12 時間、冬季 24 時間以上)、上から物を落としたり重いものをひきずったりして防水層を破損させないように注意して下さい。